

みくらんど

JA全農えひめ情報

2018

8 - Sep.
Aug. 9

■特集

担い手確保対策と農福連携事業の実証について





▲(左) いよっこら特製唐揚げ、(右) 手作りバーガー、(後) 桃のムース風デザート

親子料理教室を通じて 地産地消を推進！

愛媛県伊予市のJAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっこら」は、7月14日、伊予市生涯学習センターさざなみ館で地元農畜産物の美味しさや魅力を伝えようと、「いよっこら親子料理教室」を開きました。出荷者がつくる「いよっこら」運営協力会(会員数約600人)が地産地消の推進と食農教育の一環として開催しており、今回は8回目。伊予市と周辺市町から8組20人が参加しました。

今回は、「いよっこら」運営協力会の会員3人と「いよっこら」スタッフ1人が講師となり、「いよっこら」で販売している旬のものを使って、「子どもたちが作って楽しめる料理」を提案。参加者は、唐揚げやハンバーガーなどに挑戦しました。参加した岡本陽詩さん(垣生小3年)は、「ハンバーガーのパテを作るのが難しかったが、一番美味しかった。家でも作ってみたい」と笑顔を見せていました。

参加した保護者は「自宅ではなかなか時間がとれない。こういう機会に一緒に料理ができてよかった」と話していました。

ファーマーズマーケット「いよっこら」では、農業・農畜産物に直接ふれあう場を提供する「食農教育」活動に取り組んでいます。8月25日には、「いよっこら親子農業体験ツアー」を開催予定。

めぐり〜ど

2018年8-9月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



緑日に繰り出そうと、猛ダッシュで下校した子どもたち。順番待ちの浴衣の着付けが待ちきれなくて、弟は、自分で着ようと頑張っているのか、ふざけているのか。着付けの手は休まないまま、優しくさすお母さん。お誘いの友だちにはスイカとラムネでおもてなし。遠くから聞こえてくる緑日の賑わいが「早くおいで」と手招いているような夕刻です。

●表紙：浴衣の着付け
はら ふみ(イラストレーター)

※『めぐり〜ど』は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.205

親子料理教室を通じて 地産地消を推進！

2

〈特集〉

担い手確保対策と農福連携事業の実証について

元気な産地への一歩！ 「農」と福祉のマッチング

5

THE・ねっとわーく

6

グループ会社常勤役員の人事異動について／JA新トップ紹介
／平成30年度新規採用職員紹介

7

統計BOX

8

ふるさと ESSAY VOL.273

【愛顔の食卓】誕生

泉谷 昇さん

10

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉ピーマン

JA全農えひめ

ホームページ
<http://www.eh.zennoh.or.jp>



■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆㈱えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス㈱

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ㈱

<http://fresh-ranran.jp/>

◆㈱ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー㈱

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆JAえひめ物流㈱

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

特集

元気な産地への一歩！

「農」と福祉のマッチング

農業の担い手不足は、愛媛県でも大きな課題であり、10年後には農業従事者が半減し、限界集落や荒廃農地が増加する危機的な状況が想定されています。

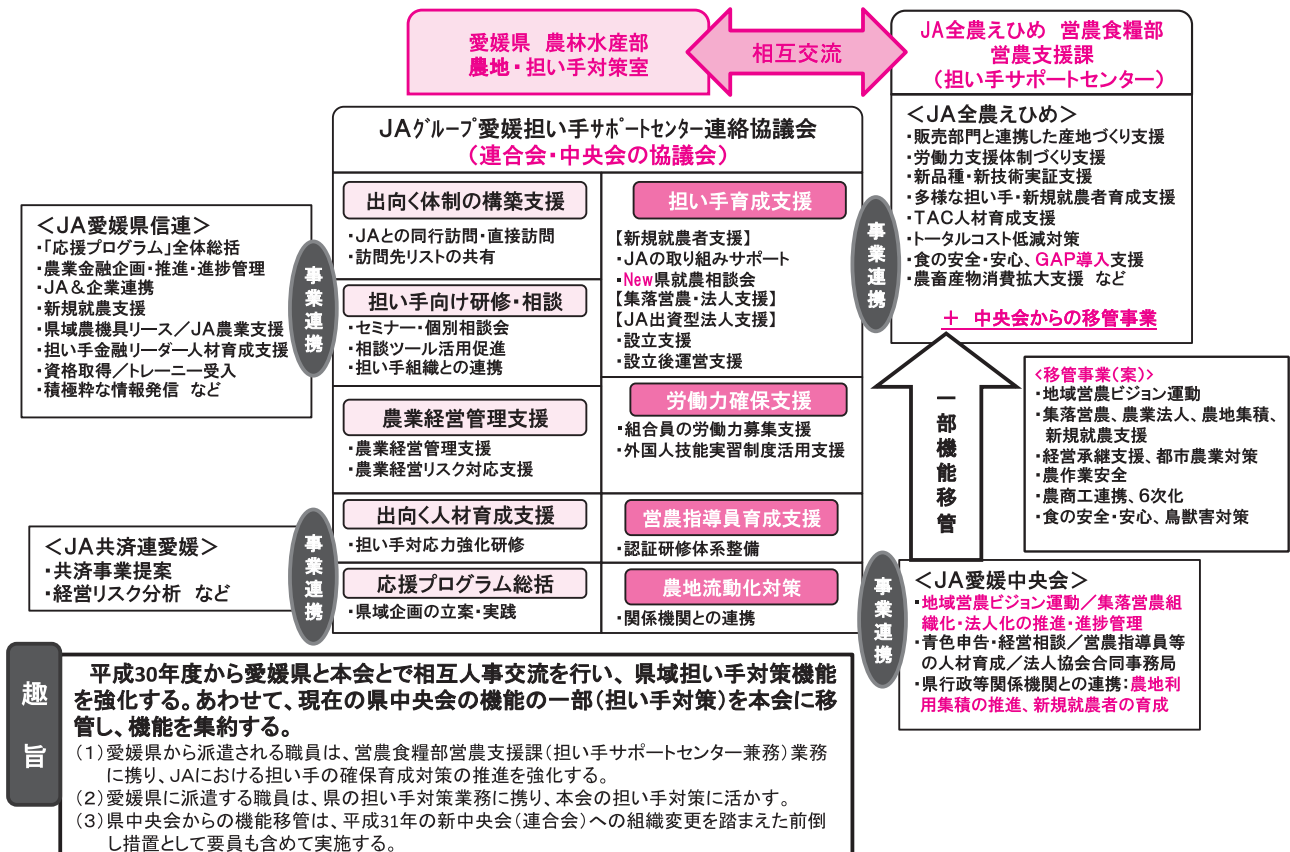
このため、担い手確保対策が急務であり、様々な取り組みについて検討をおこなっています。

担い手確保対策体制整備

平成30年4月からJA全農えひめ営農食糧部営農支援課（担い手サポートセンター）へ愛媛県及びJA愛媛中央会から職員を受け入

れました。担い手対策の一元的な推進体制を構築し、各JAに対するワンストップ窓口として確立したことで、現場での対策を一体感のもと効果的かつ着実に推進しています。また、併せてJA全農えひめから愛媛県の農地・担い手対策室へ職員派遣を行い、将来を見据えた担い手対策推進方策を研修させるなどの体制を整備しました。

図1 県域担い手対策機能の強化について



新規就農者確保

国の「農業次世代人材投資事業（旧・青年就農給付金制度）」の導入や各JAの就農希望研修生受け入れ体制の整備により、近年は100人を超える一定数の新規就農者（40歳未満）が確保されています。しかし、離農者が今後多くなることから、さらなる就農希望者の掘り起こしが必要です。今

で、県外において開催される全国規模の就農相談会では細やかな対応が不十分であったため、今年度初めて愛媛県単独で首都圏就農相

談会を開催します。相談会開催後も就農体験ツアーの実施など、愛媛での就農を希望する方へのフォローにより、新規就農者の確保に努めます。

担い手への労働力支援

農業分野における労働力不足は慢性的になっており、規模拡大を目指す担い手の障害となつていきます。JA全農えひめでは、愛媛県等と共に担い手への労働力支援の形を模索する検討を重ねており、潜在的な労働力となり得る主婦の方や大学生、シルバー人材などを

愛媛県で農業を始めたい方向けの就農相談会です

愛媛 始農

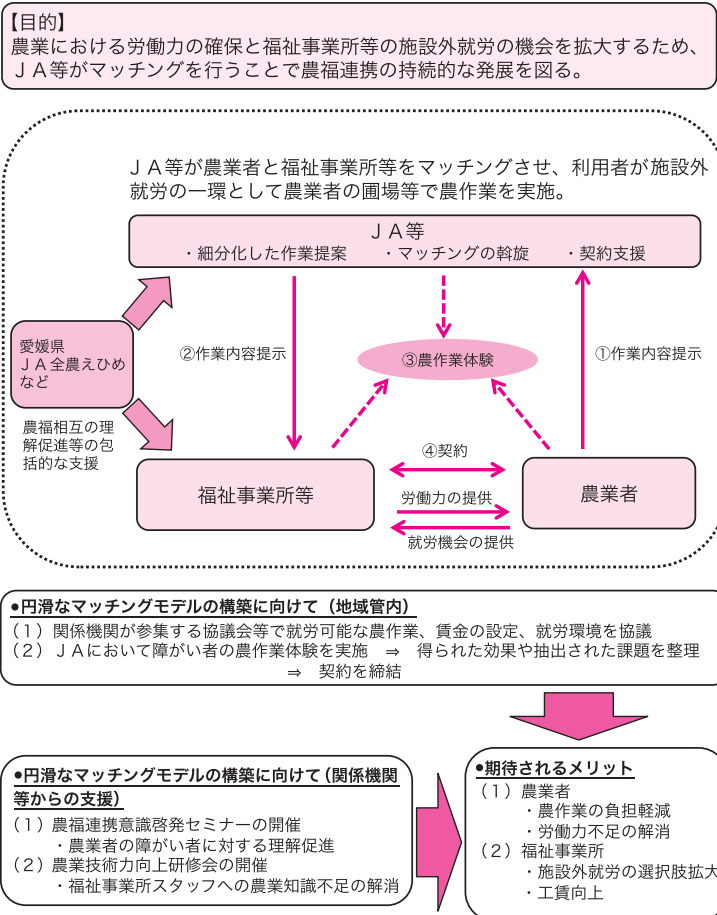
日時 平成30年10月13日（土）10:00～
場所 新宿住友スカイルーム ROOM2
新宿区西新宿2-6-1 新宿住友生命ビル 47階

問い合わせ・お申し込み
(株)あぐりナビ TEL03-6432-7641 担当 矢島
全農えひめ 営農支援課 089-948-5753 担当 斉藤、野本

▲首都圏で就農相談会を開催予定

農作業ニーズと幅広くマッチングする手法や外国人技能実習制度の活用、福祉事業所等と連携しての労働力確保（農福連携）など、様々な取り組みを同時並行的に進めていきます。

図2 JA等と福祉事業所等とのマッチングモデル概要（案）



可能性広がる農福連携

農業者の労働力確保へ向けた対応策のひとつとしての「農福連携」は、福祉事業者等施設利用者の就労機会確保・自立支援にもつながり、農業への就労の取り組みに期待されています。ここでは、愛媛県と共に推進する「JA等と福祉事業所等とのマッチングモデル」

づくりの事例を紹介します。取り組みを通じて、農業者側から施設利用者の農作業受託者としての可能性を確認することや、福祉事業者側から施設外就労として農業分野がもたらすリハビリ効果の有無など、互いの情報交換を密にすることが重要となります。

農福連携によるブルーベリー（JAえひめ中央）での実証の取り組み

愛媛県伊予郡砥部町で柑橘、キウイフルーツ、ブルーベリーなどを栽培する西岡幹夫さん（65）は、ブルーベリーの収穫、選別・パック詰め、就労継続支援A型事業所の（株）ラコッタ（松山市天山）から利用者を受け入れています。

6月下旬から8月中旬まで出荷が続くブルーベリーは、早朝の収



◆ブルーベリーの選果作業をする（株）ラコッタ利用者



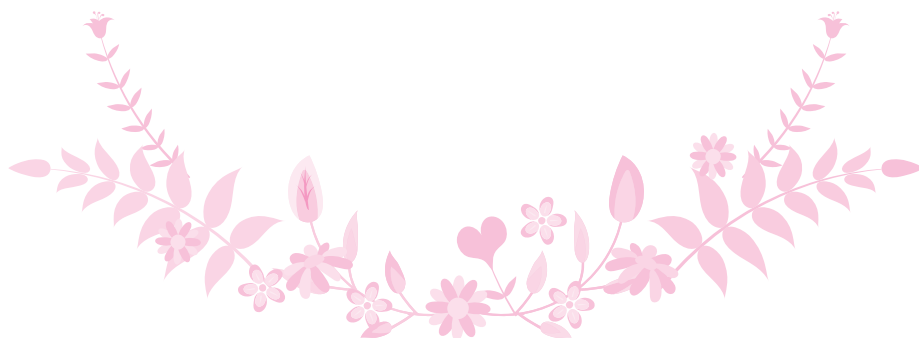
穫から深夜まで選別・パック詰め作業がおこなわれるほどの忙しさで、今回（株）ラコッタの利用者2人は、1日当たり4時間、主に選別・パック詰め作業をおこなっています。西岡さんは「選別・パック詰め作業を担ってもらうことで、他の作業をすることができ、作業を細かく分ければ、利用者の方也十分農作業受託者になれる事が分かった。他のブルーベリー農家にも農福連携を紹介したい」と連携強化の広がり意欲を見せ、（株）ラコッタの統括管理責任者の大野正和さんは「農業者の作業要望が多いと聞くので、応えていける力をつけていきたい」と話しています。JAえひめ中央の担当者は「生



▲JAえひめ中央 柑橘農家の西岡幹夫さん

産者の労働力不足解消に貢献できる手ごたえを感じている。農業者と障がい者を橋渡しする仕組みを探っていききたい」と、継続的な取り組みについて前向きです。

JA全農えひめとしても、品目や作業内容、実証地区の拡大に向け、愛媛県やJA、福祉施設等関係機関と連携しながらマッチング事例を増やしていきたいと考えています。





THE

ねつとわーく

「会員代表者会を開き
平成29年度事業を報告」

管理部

J A全農えひめは、6月29日、松山市のJ A愛媛で会員代表者会を開き、運営委員会委員候補者の推薦と平成29年度の事業報告を行いました。

■平成29年度事業報告

県本部の取扱高（総供給販売高）は、全体で計画比99%の920億7,055万円となりました。総供給販売高から本部間販売・内部販売を除いた事業分量は、810億6,992万円で計画を

7億7,080万円下回りました。

各部別の概況は次の通りです。

【営農食糧部】米の販売数量減少により取扱高が減少。

【園芸部】果実は中晩柑の単価高等により増加したものの野菜の数量減少により取扱高が減少。

【畜産部】豚出荷頭数の減少により取扱高が減少。

【生産資材部】柑橘配合肥料の減少や農薬のJ A在庫圧縮にともなう出荷数量減少、トラクター等主要農機の落ち込み、みかん用段ボールの出荷数量減少により取扱高が減少。

【生活部】洋服などの生活用品やメ

モリアル関連・食品の販売不振、戸建て住宅やリフォームが減少したものの、燃料価格の高騰により取扱高が増加。

また、県本部グループ7社の売上高合計は、計画比100%の457億8,213万円となったこと等を報告しました。

同日には各連合会表彰も行われ、J A全農えひめ関係では、29年度の系統経済事業の取り組みに功績のあった2 J AとJ A職員20人を表彰しました。表彰者は左表のとおりです（敬称略）。

J A全農えひめ 平成29年度取扱高実績
(事業分量)

(単位：百万円)

部 門	計 画	実 績
営 農 食 糧 部	2,739	2,682
園 芸 部	42,037	41,730
畜 産 部	12,170	11,852
生 産 資 材 部	10,964	10,379
生 活 部	13,931	14,427
合 計	81,841	81,070

J A全農えひめグループ会社
平成29年度取扱高実績

(単位：百万円)

会 社 名	計 画	実 績
(株) え ひ め 飲 料	24,123	23,653
J Aえひめアイパックス(株)	4,081	4,047
J Aえひめフレッシュフーズ(株)	3,423	3,415
(株) ひ め ラ イ ス	4,087	4,450
J Aえひめエネルギー(株)	2,639	2,955
(株) え ひ め フ ー ズ	646	667
J Aえひめ物流(株)	6,951	6,596
合 計	45,950	45,782

平成29年度 全農愛媛県本部表彰
【J A表彰】

越智今治農業協同組合
えひめ中央農業協同組合

【特別功労表彰】 ※カッコ内は農協名

河村 完司（うま）	伊藤 津好（西条市）
神野 誠二（今治立花）	久保 章（松山市）
谷本 哲也（愛媛たいき）	古本 陽一（東宇和）
酒井 洋（えひめ南）	

【優良職員表彰】 ※カッコ内は農協名

高松 秀樹（うま）	鉾岩 俊英（周桑）
塩出 直毅（周桑）	矢野 司（越智今治）
田所 東洋志（松山市）	山崎 仁（松山市）
山口 修一（えひめ中央）	亀岡 功生（えひめ中央）
中田 光則（愛媛たいき）	井上 藤人（西宇和）
河野 和仁（西宇和）	木下 和隆（西宇和）
清家 嗣雄（えひめ南）	

J A新トップ紹介

J A新居浜市

代表理事組合長（平成30年6月25日就任）

おか べ ます お
岡部 益夫



◆略 歴

- 昭和21年生まれ
- 昭和47年（有）四国さく泉工業所勤務
- 平成27年 J A新居浜市理事

グループ会社 常勤役員の人事異動について

J A全農えひめのグループ会社7社は、6月19日から6月20日にかけて株主総会・取締役会を開き、新役員体制を決めました。

常勤役員の異動は下記のとおりです。

(株)えひめフーズ（6月20日付）

- ◆代表取締役社長（参与） 富永 浩司
- 【退任】 森實 光夫（代表取締役社長）

(株)えひめ飲料（6月20日付）

- ◆代表取締役専務（常務取締役） 山本 卓治
- 【退任】 濱本 泰久（代表取締役専務）
- ◆常勤監査役（参与） 石川 忠司
- 【退任】 岡本 慎也（常勤監査役）
- ◆取締役兼製造本部長 中村 康史
- ◆取締役兼営業本部長 道上 久司

平成30年度 新規採用職員紹介

3ヶ月の研修期間を終え、7月1日付で本採用となりました！
J A全農えひめに新たな風を吹き込むフレッシュな4名を紹介します。



み た に ま り ん
三谷 真鈴

【営農食糧部食糧生産課】

出身地：伊予市

今年は、水稻や麦に関する知識習得の1年にしたいです。よろしくお願いします！



ともお か し ん や
友岡 慎弥

【畜産部畜産生産課】

出身地：松山市

生まれ育った愛媛の農畜産物を全国に広めていけるよう頑張ります！



う え だ こ う き
上田 幸樹

【園芸部直販課】

出身地：八幡浜市

日々の業務に目的を持って励みたいと思います。そして前向きに努力を続けていきます。



にし え こ う へ い
西江 康平

【生産資材部肥料農薬課】

出身地：松山市

肥料技術担当として専門知識を身に着けます。初心を忘れず業務に取り組みます！

統計BOX

農業女子の経営参加に期待が寄せられている

ー 農林業センサス及び農家における男女共同参画に関する意向調査結果からー

男性農業者は女性の農業経営参画に期待

2015年農林業センサスによると、農業就業人口に占める女性の割合は約5割で、農業の重要な担い手となっています。農林水産省では、女性農業者が一層活躍できる環境整備を進めています。主体的に農業経営に関わる女性はまだまだ少ないようです。しかし、女性が参画している経営体ほど販売金額が大きく、経営の多角化傾向が強いなど、地域農業振興や経営発展、6次産業化などに女性は貢献しているとみられます。今回は、女性農業者にかかる意識・意向のデータを見てみましょう。

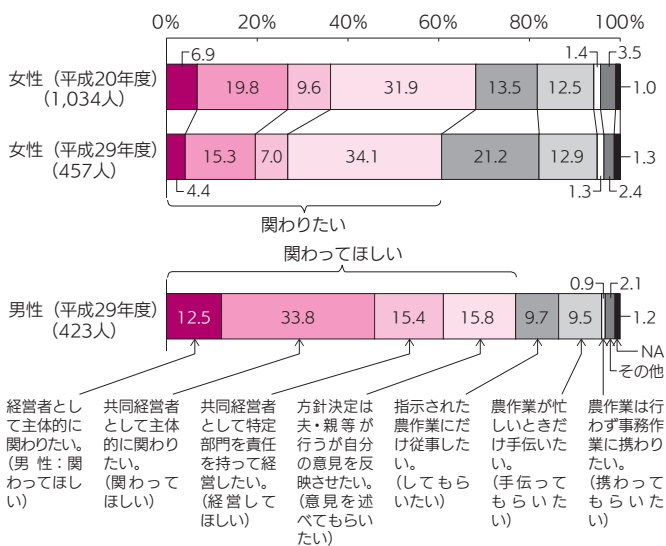
表は、販売農家で経営方針決定に女性が関わっているかどうかを調査したものです。全国、県内とも同様の傾向で、何らかの形で女性が関わっている農家は47%とほぼ半数ですが、経営者が女性の農家は愛媛県で8%にとどまっています。グラフは、平成20年度と29年度に行った「農家における男女共同参画に関する意向調査」(注)結果を比較したものです。何らかの形で経営に関わりたいという女性は、この10年間で68%から61%に減少しています。内訳を見ると「経営者」「共同経営者」「部門責任者」として関わりたいが減少し、「農業経営に意見は反映

経営方針の決定に関わっている者の状況別農家数割合

区 分	構成割合 (%)	
	全 国	愛 媛
経営者が男性の農家	93.3	92.2
経営者以外で関わっている者がいる	44.9	43.1
男女が関わっている ①	7.3	5.7
男性が関わっている	4.5	3.7
女性が関わっている ②	33.1	33.7
経営者以外関わっていない者がいない	48.4	49.1
経営者が女性の農家 ③	6.7	7.8
女性が関わっている農家 (=①+②+③)	47.1	47.2

出典：「2015年農林業センサス」販売農家のうち家族農業経営農家、経営方針の決定参加者（経営主を除外）の有無別農家数から作成。

農業経営への関わり方に関する女性の意向・男性の意識（全国）



出典：農家における男女共同参画に関する意向調査
 注：割合は表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳が一致しない。

させたい」がやや増加、「指示された農作業に従事」が増加するなど、10年前に比べ経営参加に対する積極性はやや低下しているといえます。しかし一方、男性の意識を見てみると、女性に農業経営に関わってほしいとする意識は高く、共同経営者として主体的に関わってほしいとする男性が3割を超え、8割近くの男性が経営方針決定に女性の参画を求めています。農林水産省ではチャレンジする女性のための事業や、女性の活躍推進に向け女性農業者に配慮した事業を用意しています。また、3月10日を「農山漁村女性の日」と定め、女性の能力を一層発揮するための環境作りや、農業女子プロジェクト（略）

農業女子PJ」として、各種企業と連携して新たな商品やサービスを創造するとともに、PJを通じて、女性農業者の存在感を高め、自らの意識改革・経営力の発展、職業として農業を選択する女性の増加を目指す取組を進めています。

注：「農家における男女共同参画に関する意向調査」の対象は経営主及びその配偶者、もしくは同居している後継者及びその配偶者であって、ともに62歳未満で自営農業に年間150日以上従事している者とし、平成20年度は女性1,034名、29年度は女性457名、男性423名から回答を得ています。

（★検索ワード「農業女子PJ」「農林水産情報交流ネットワーク事業」）
 中国四国農政局愛媛支局 統計チーム



【愛顔の食卓】誕生

いよココロザシ大学が始まり4年が過ぎた頃、市民先生は約250名、授業回数は350回程度で、蓄積される愛媛の魅力やご縁などを元に、我々しか創出することができない新たな価値について考えていた。

構想は2種類あり、1つは「いよココロザシ大学付属学園構想」だ。これは授業内容を「こども向け」や「シニア向け」と対象者を明確にすることで、幅広い年齢層の方が授業へ参加してもらえると考えた。もう1つは「生産者が直接つくる品を販売できないか？」というアイデアだ。市民先生の約半数が生産者ということと、授業の時に生産者から悩みを打ち明けられたことが根底にあった。決定的だったのが「6次産業化」という言葉を知り、コレだ！と、2015年12月に愛媛初の、6次産業化商品の専門店【愛顔の食卓】が誕生した。

しかし、【愛顔の食卓】の立ち上げは苦勞の連続だった。6次産業化に取り組む生産者はどこにいるか？ そも6次産業化という言葉が知られていない、そして販売は商売だということ。すべてが不慣れな中、県内各地で説明会を行った。スタート当初は20事業者ほどの出店者だったが、3ヶ月後には40事業者まで増えた。当時を振り返り、頑張れた理由は「脆弱なNPOの財政基盤強化に収益事業を立ち上げなければ！」、さらに「生産者が抱える課題を改善したい」という一念だった。3ヶ月間の運営に大きな手応えを得たが、問題も2つ発生！ 1つは「6次産業化商品だけの販売では、来店者のニーズに答えられない」ということ。そして「期間限定の運営のため、期間終了と共に生産者とのご縁も一区切り」ということだった。

手応えあり、課題もありという結果

泉谷 昇

NOBORU IZUMITANI

■プロフィール■

NPO法人いよココロザシ大学 理事長・学長。
1971年東京都出身。高校卒業後渡米。映画製作などを学び帰国。
コンサルティング業務を経て、2002年～2008年愛媛県観光課勤務。
えひめフィルム・コミッション担当。2008年～2011年松山市観光産業振興課勤務。観光企画、フィルム・コミッション担当。
「世界の中心で、愛をさけぶ」「HERO」「がんばっていきまっしょい（TV版）」「書道ガールズ」「坂の上の雲」「真夏の方程式」など500本以上の映画、映像作品の撮影支援に携わる。
2011年「誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス」を掲げ、『いよココロザシ大学』設立。松山市花園町には県内の生産者などがつくった品が並ぶセレクトショップ「愛顔の食卓」がある。



▲店内には常時300点ほどの商品が並んでいる

に、手放すのが惜しくも原資がない。悩み続け、清水の舞台から数回飛び降りたほどの決断を下したのは再オープンをする事だった。

2016年8月25日、【愛顔の食卓】は40ほどの事業者の協力を得て花園町で再び営業を開始した。前回の課題を改善すべく矢継ぎ早に色々始めた。商品の幅を広げ、ハチミツ、乾燥しいたけ、干しエビなども扱った。商品は類似品も多く、差別化がはかりにくい。ため、試食・試飲を積極的に行った。

試飲・試食をすれば来店者と自然に会話が生まれやすい。ただ、試食に不向きな品もある。例えば、梅干し、のり、塩、佃煮、醤油だと、寒い時期には「おかゆ」で一緒に召し上がっていただきたい。その他、生産者を市民先生として招き、消費者でもある市民学生と意見交換をしたり、「つまみ」と称して新しい食べ方や味を提案したり、できることはすぐに実行し効果を確かめた。いろいろな試みの中で【愛顔の食卓】の最大の強みは何かと考えるように

なった。東・中・南予の様々な商品を見て「ギフト・贈り物」を思いついた。私は、贈り物は古き良き慣習で、贈る時期にも固定観念を持っていた。今では「ご挨拶」や「気持ち程度」など気軽な手土産として、いつでも贈る機会はある！と、贈る相手を想像しながら各地の詰め合わせを贈っている。贈り先でもまた喜ばれているようだ。

詰め合わせ方は自由だ。参考までに、「海山里島セット」だと、真鯛の一夜干し、ジビエ、じゃこてん、冷凍みかんが可能だ。「みかんづくしセット」なら、みかんのシロップ漬け、みかんチョコレート、みかんジュース、みかんジャム！さらに、柑橘王国えひめを実感するにちがいない「柑橘飲み比べセット」は、種類の異なる柑橘ジュースやゼリーを組み合わせる！詰め合わせのセレクトも楽しく、食卓や職場で開けた瞬間の笑顔が想像できるのがいい、そして、話題になる！！

「ココ大」にしかできない【愛顔の食卓】が誕生し、更に【愛顔の食卓】でしかできない価値のある「手土産・贈りもの文化」を提唱していきたい。

※「6次産業化」とは、農林漁業者（1次産業）が食品加工（2次産業）や販売（3次産業）に取り組み、農林水産業の活性化を図る方策。【1次×2次×3次産業Ⅱ6】の造語であり、6番目を意味しない。

● J A 愛媛野菜生産者組織協議会 第43回総会

えひめ野菜の生産基盤強化と販売力強化めざす！

愛媛県内11 J A 80部会（21品目）で組織する J A 愛媛野菜生産者組織協議会は、6月28日、松山市で第43回通常総会を開き、平成30年度事業計画などを決めました。

30年度事業方針では、マーケットイン（実需者ニーズ）にもとづく生産振興をすすめ、生産基盤強化と持続性のある生産体制モデルの構築に取り組みます。また、消費拡大およびファンづくりに向け、対面型消費宣伝の拡充と関係各所と連携した産地PR活動に取り組んでいきます。

総会では、県農産園芸功労知事表彰と野菜生産改善共進会等の表彰式がありました。また、今回初めてとなる営農指導員表彰ならびに活動報告も行われました。受賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内は J A 名）。

◆愛媛県農産園芸功労知事表彰

▽渡辺十二（越智今治）▽東博志（えひめ中央）

◆野菜生産改善共進会

【たまねぎ】▽県知事賞＝越智栄一（えひめ中央）▽全農県本部長賞＝東村知重（同）▽協議会長賞＝（農）吉田（周桑）【さといも】▽県知事賞＝保子京一（うま）▽全農県本部長賞＝越智修二（おちいまばり）▽協議会長賞＝（株）ファーム咲創（同）、越智優行（西条）、山内一晃（周桑）【枝豆】▽県知事賞＝成本啓裕（えひめ中央）▽全農県本部長賞＝酒井優行（同）▽協議会長賞＝八束まゆみ（松山市）、木下務（同）【ピーマン】▽県知事賞＝田本豊弘（松

山市）▽全農県本部長賞＝大野晃（同）▽協議会長賞＝藤原晴夫（えひめ中央）、石丸広幸（松山市）、西尾道尊（同）

◆全農愛媛県本部長感謝状

藤本求（おちいまばり）、宇都宮喜久（ひがしうわ）、山本保（愛媛たいき）、国田拓志（西条）

◆営農指導員表彰

▽最優秀賞＝武内玄（おちいまばり）▽優秀賞＝池田一平（えひめ中央）



県農産園芸功労知事表彰受賞の渡辺さん



県農産園芸功労知事表彰受賞の東さん

●愛媛県米麦振興協会第24回通常総会

需要に即した生産誘導と品質向上対策を！！

愛媛県米麦振興協会は、6月19日、J A 愛媛において県・行政や J A、関係機関等が出席して第24回通常総会を開催し、30年度事業計画や収支予算を決定しました。

米については、県内必要数量を確保していくことを大前提に、県内需要に応じた J A 別・銘柄別作付け計画に基づいた生産誘導と作型の集約を推進。「コシヒカリ」「あきたこまち」「ヒノヒカリ」「にこまる」を中心に作付誘導を行うとともに、酒米用の「松山三井」「しずく媛」など用途別需要に即した生産誘導を行います。また、全国的に不足している業務用米については、多収穫米の「あきだわら」を中心に普及・拡大を行います。

「ヒノヒカリ」「にこまる」については、日本穀物検定協会の米の食味ランキングにおける「特A」再取得に向けて取り組みます。

31年連続生産量日本一のはだか麦については、生産量の実需者の希望する数量になるよう、単収アップにより安定供給できる体制を目指します。さらに、「ハルヒメボシ」への計画的な品種転換を J A 単位で進めていきます。



●愛媛県果樹同志会 第5回総会

会長に能田英文さん再任～新役員体制決める

愛媛県果樹同志会は、5月24日、松山市のJA愛媛で第5回総会を開き、会長に能田英文さん（えひめ中央果樹研究同志会・再任）を選任しました。

能田会長は、「高品質・高生産・高単価の実現に向けて生産者一同頑張りましょう」と力強くあいさつしました。

県果樹同志会は、高齢化や後継者不足による会員の減少が進む中で、組織活動の維持・活性化を図ろうと、平成26年5月、男女の同志会組織を合併して発足。県内7地区の同志会と3地区の女性組織で構成されています。

平成30年度事業計画では、温州みかんの隔年結果是正対策と中晩柑類・落葉果樹類も含め高品質安定生産対策を最重点課題に、生産対策や生産基盤の整備と経営改善、農政活動や消費者交流活動、教育情報活動などに取り組むことを決めました。

平成30年度のその他の主な役員は次のとおり（敬

称略・カッコ内は所属同志会）。

▽副会長＝長岡隆浩（南予果樹同志会・再）、武内千恵（南予果樹同志会・再）、菊池美由紀（西宇和女性果樹同志会・新）▽監事＝石橋仁志（えひめ中央果樹研究同志会・再）、松浦喜孝（西宇和青壮年同志会・再）、一色百合子（えひめ中央女性果樹同志会・新）、二宮保美（西宇和女性果樹同志会・再）



（写真左から）菊池副会長、能田会長、長岡副会長、武内副会長

●愛媛県くり研究同志会平成30年度総会

量と質の確保を最重点に取り組む

愛媛県くり研究同志会は、6月4日、JAえひめ南鬼北広見支所で、平成30年度通常総会を開催しました。

開催にあたり、大野奉孝会長が「昨年は全国くり研究大会や同志会創立50周年記念大会の開催など、会員一同はもとより県・JAの協力のもと無事に執り行うことができた。会員一同心を新たに愛媛くり振興に邁進しよう」とあいさつしました。

平成30年度計画では、プロの意識を持ったくり栽培農家を育成し、高品質果実の安定生産に努め、消費者ニーズに応える安全・安心な果実を生産する

ことで産地の活性化を図ります。

なお、29年産栗のJA全農えひめ扱いの販売実績は、数量368トン（前年比135%）、kg単価820円（同83%）でした。



●平成30年度TAC管理者会議

TAC活動の充実に向けTAC管理者が出席

JA全農えひめ営農支援課は、TAC活動の充実・ステップアップに向けて、6月7日、松山市のJA愛媛で「平成30年度TAC管理者会議」を開きました。

TACは、地域農業の担い手に出向くJA担当者の愛称。「とことん会ってコミュニケーション」を合言葉に、県内では13JAで活動中です。

研修会には約20人が参加。JA全農本所から情勢報告、各JAの取組報告のほか、「労働力支援」

や「事業継承ブック」の活用など情報共有と意見交換を行いました。



● J A 愛媛養豚経営者協議会第39回総会 新会長に酒井栄一さん

J A 愛媛養豚経営者協議会は、6月15日、松山市の J A 愛媛で第39回総会を開き、平成30年度事業計画と新体制を決めました。

役員改選が行われ、会長に酒井栄一さん（J A えひめ南・新任）を選任しました。

30年度は、経営スキル向上や生産技術向上を目的とした階層別セミナーの開催を実施します。また、全農クリニック事業を活用した個別衛生対策や「ふれ愛・媛ポーク」の信頼確保・差別化を図るため農場HACCP等への取り組み、消費宣伝活動・生産情報の発信などに取り組みます。

また、総会に先立ち、優秀会員を表彰しました。受賞農場は次の通りです。（カッコ内は J A 名）

▽優秀会員＝山内養豚（ひがしうわ）、(有)菊間仙高

牧場（おちいまばり）、(株)多田ファーム（愛媛たいき）、安平養豚（ひがしうわ）



（左から）田中幸浩副会長、酒井栄一会長、森田恭章副会長

●愛媛県肉牛生産者協議会30年度総会 生産基盤維持と販路拡大を！

愛媛県肉牛生産者協議会は、6月19日、松山市の J A 愛媛で平成30年度総会を開き、30年度事業計画などが承認されました。

30年度事業方針では、防疫・衛生管理の徹底と生産履歴の明確化により、安全・安心な伊予牛「絹の味」を生産。県内消費者にアピールするとともに販路拡大に取り組みます。

なお、総会に先立ち、29年度優良生産者を表彰しました。受賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内は J A 名）。▽優良生産者＝角藤幸男（ひがしうわ）、

関平畜産(有)（ひがしうわ）、宮本正義（西宇和）



あいさつをする本宮会長

●平成30年度えひめ愛フード推進機構総会 愛媛ブランドづくりや販路開拓支援の取り組みを確認

愛媛県など行政団体、J A 全農えひめなど農林水産漁業団体や商工・流通団体などで組織するえひめ愛フード推進機構（会長：中村時広愛媛県知事）の平成30年度総会が、6月12日松山市で開かれ、30年度事業計画を決めました。

えひめ愛フード推進機構は、「愛」あるブランド製品の認定・PR、海外への輸出促進やえひめスイーツプロジェクトなどの販路開拓支援事業、全農えひめと連携したテレビ番組の放送など総合的なPR活動に取り組んでいます。

30年度基本方針では、「柑橘王国えひめ」の一層のPRなど「愛媛ブランドづくり」のほか、「売れる

しくみづくり」に取り組むことなどを確認しました。



会長あいさつをする中村時広愛媛県知事

●第44回乾椎茸品評会表彰式・椎茸同志会第46回総会

成高王洋さんが10年連続最優秀賞受賞！

愛媛県椎茸同志会主催の第44回乾椎茸品評会表彰式が、5月23日に大洲市のJ A愛媛たいき本所で行われました。同志会会長の成高王洋さん（J A愛媛たいき）が10年連続で最優秀賞（全農会長賞）を受賞しました。1月～3月に収穫した春子37点が出品。同志会役員・日本きのこセンター・J A全農えひめの審査員が入賞13点を決めました。

10年連続最優秀賞の成高さんは、「10年という大きな節目を迎えた。今後も向上心を持って頑張っていきたい」と力強く話していました。

同日の同志会第46回総会では、2018年度の事業計画を決めました。増産・技術の向上や「愛媛椎茸」の消費宣伝活動を通じて国際競争に勝てる生産基盤の構築と担い手の確保に取り組みます。

2017年産の平均キログラム単価（全農えひめ扱い）は、国産入札平均単価を325円上回る4,969円（前年比98.2%）でした。その他の主な入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJ A名）。

▽優秀賞＝矢野欣一（愛媛たいき）、高橋征敏（ひがしうわ）▽1等賞＝高橋茂行（ひがしうわ）、松本和夫（愛媛たいき）、河内遼一（同）▽2等賞＝大和田孝（ひがしうわ）、宮内正義（愛媛たいき）、久保勝利（同）▽3等賞＝岡中勝彦（ひがしうわ）、和気重臣（愛媛たいき）▽努力賞＝中村重清（ひがしうわ）、武田秋重（同）



10年連続で最優秀賞に輝いた成高王洋さん

●第51回全農乾椎茸品評会

成高王洋さんが農林水産大臣賞受賞！～愛媛県から8人が入賞しました～

J A全農主催の第51回全農乾椎茸品評会が、6月14日埼玉県久喜市で開かれ、愛媛県関係では中葉中肉の部で成高王洋さん（J A愛媛たいき）が農林水産大臣賞を受賞したほか、8人が入賞しました。

今回は全国22府県から539点、うち愛媛県からは40点が出品されました。愛媛県の入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJ A名）。

▽農林水産大臣賞＝＜中葉中肉の部＞成高王洋（愛

媛たいき）▽林野庁長官賞＝＜大葉中肉の部＞高橋征敏（ひがしうわ）▽全農会長賞＝＜大葉厚肉の部＞高橋茂行（同）、＜大葉中肉の部＞大和田孝（同）▽日本きのこセンター理事長賞＝＜大葉厚肉の部＞宮内正義（愛媛たいき）、＜大葉中肉の部＞河内遼一（同）、＜中葉厚肉の部＞矢野欣一（同）、＜中葉厚肉の部＞久保勝利（同）

●「フレッシュ市部会」総会

地産地消の推進・地域貢献に向けてチャレンジ！

5月18日、「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」の直売所出荷者で組織する「フレッシュ市部会」が第21回の総会を開きました。29年度の活動報告・会計報告を行い、30年度活動計画・予算計画など提案した全議案が承認されました。

30年度活動方針では、魅力ある商品づくり、豊富な品ぞろえにより消費者に支持される売り場づくりを目指すほか、総合的な食品安全保障を確立していくことなどを確認しました。「近くて便利な地域コ

ミュニティ」
として、地域
に密着した直
売所を目指し
ていきます。



「愛媛県JA-SS推進協議会」設立！

愛媛県JA-SS推進協議会（メンバー36SS）は、6月6日松山市のJA愛媛で設立総会を開催しました。

同協議会は、地域ライフライン網の競争力強化、各種コスト削減や購買力強化を図るとともに、時代の変化に適応した「常に地域に必要とされる広域拠点」として発展し、地域の活性化に貢献していくことを目指しています。

会長には、JA周桑の竹田博之生活部長を選任しました。

なお、優秀SSや従業員表彰も行われました。受賞者は次のとおりです（敬称略・カッコ内はSS名）。
【総合表彰】 JA愛媛たいき川下SS、(株)JA東宇和サービス野村中央SS **【揮発油部門】** JA愛媛たいき大瀬SS、JA西条神戸SS **【新規客数拡大部門】** JAえひめ中央伊予セルフSS、JA愛媛たいきオズメッセセルフ **【油外収益部門】** JA愛媛たいきサンライズ56SS、

(株)JA東宇和サービス城川中央SS **【SS従業員表彰】** ▽SS所長＝村上雄（JA周桑中央SS）、松岡秀明（JAえひめ南JASS-PORT愛南SS）▽SS従業員＝松田みゆき（(株)ジェイエイ越智今治菊間SS）、森田真治（JAえひめ中央城南SS）、下柳恵美（JA愛媛たいき大瀬SS）、新和弘（(株)JA東宇和サービス野村中央SS）、坂本賢（JAえひめ南JASS-PORT愛南SS）



●第31回JA愛媛LPガス事業運営協議会通常総会 信頼されるLPガス事業を目指して！

JA愛媛LPガス事業運営協議会は、6月13日、砥部町で、第31回JA愛媛LPガス事業運営協議会通常総会を開催しました。

平成30年度計画では、JA販売所の営業体制及び系統広域営業体制整備をすすめるとともに、営業体制を確立した上で、大口需要の開拓によりシェアの維持を目指します。また、リフォームも含めたホームエネルギー提案が行える推進体制の構築に向け取り組んでいきます。

なお、総会に先立ち、平成29年度の優秀な会員を表彰いたしました。受賞者は次の皆さん（敬称略）。▽総合部門＝(株)ジェイエイ越智今治▽保安対策部門＝JA今治立花▽ガス器具部門＝(株)JA東宇和サー

ビス、(株)ジェイエイ越智今治、JAえひめ南、JAえひめ中央▽個人部門＝村上直義（(株)ジェイエイ越智今治）、柳原佳章（JAえひめ中央）、中本正志（(株)JA東宇和サービス）、吉田聡（JAえひめ南）



●第34回 愛媛県採卵養鶏経営者協議会 総会 生産性の向上とブランド確立めざす

愛媛県採卵養鶏経営者協議会は、6月14日、松山市のＪＡ愛媛で第34回総会を開催しました。ＪＡえひめフレッシュフーズ㈱の成鶏農場「卵卵中野ファーム」の協議会入会、30年度事業計画などの提案された全議案が承認されました。

30年度は、①生産性向上に努めコスト削減と品質改善、②「フレッシュ卵卵（らんらん）」の系統ブランド確立に向けた推進事業の展開、③次代を担

う採卵養鶏経営者のネットワークづくりと継続的な育成、④防疫・衛生管理を徹底し、安全・安心な県内産鶏卵の供給に取り組むことを確認しました。



●「いよっころ」13周年感謝祭 多彩なイベントで大盛況

ＪＡえひめアイパックス㈱ファーマーズマーケット「いよっころ」（伊予市下吾川）は、5月19日と20日の2日間、オープン13周年を記念して「いよっころ大感謝祭」を開きました。

期間中は、いよっころの店名にちなんで、1,456円以上お買い上げの方先着400人に豪華景品が当たるお楽しみ抽選会、牛モモの丸焼き販売、餅つき大会、ＪＡえひめフレッシュフーズ㈱による卵のつかみどりなど楽しい催しを実施し、大盛況でした。



餅つき体験をする来場者

●第5回えひめ5時間リレーマラソン ＪＡ全農えひめマラソン部「職場対抗の部」3位！

ＪＡ共済が特別協賛した「第5回えひめ5時間リレーマラソン」が、6月16日、ニンジニアスタジアムで開かれました。4～10人でチームを作り、1人1周（1.25kmのコース）以上走って次走者にリレーし、5時間の周回数を競いました。県内ＪＡグループからも多くのチームが出場し、大会は盛り上がりました。

ＪＡ全農えひめマラソン部（駅伝チーム）は、「職場対抗の部」で3位に輝きました。同チームは今年、12月に開催される愛媛駅伝競走（一本松～宇和島）大会出場を目指しています。

また、ＪＡ全農えひめ畜産部は、「ふれ愛・媛ポーク」ローススライスを賞品として提供しました。



「職場対抗の部」3位に輝いたＪＡ全農えひめマラソン部（駅伝チーム）の皆さん

4月14日「オレンジデー」を読んで。愛媛から他県の知人へ柑橘を贈ると大変喜ばれます。忘れたころに心のこもったお返しのでき、感謝することがあります。柑橘を贈り合う「オレンジデー」、人と人とのつながりですね。

(八幡浜市・岡 葉子さん)

みかん大使募集、もう今年で60回目！60年も続いているなんて歴史を感じますね。愛媛の魅力を発信してくれるよう大使の皆様には頑張ってもらいたいです。

(松山市・伊藤 光代さん)

エッセーを読んで。愛媛生まれ、愛媛育ちでも「愛媛の魅力は？」と聞かれたらなかなか上手く言えないと思います。「いよココロザン大学」、初めて知りました。いろいろな角度から物事も見たり、感じたり、なんだかすごく楽しそうですね！

(西条市・瀬川 憲子さん)

表紙を見て。梅干を作る風景が印象的です。今は何でも売っているし、手間をかけて作ることもだんだんなくなりました。ゆったりとした時間が懐かしい…。

(西条市・近藤 千恵さん)

表紙の梅仕事。今、私も梅を採っています。梅干しは最近、らっきょう酢で漬けています。これがけっこう美味しくて間違いないです。梅シロップなんかは、暑い夏を乗り切る源ですね！

(今治市・乾 律子さん)

トピックニュースの「親子で学ぶ地産地消体験ツアー」を読んで。私の住んでいる地域のJA周桑のことでしたので、とても興味深く読ませていただきました。このような企画は協力者の確保や準備等大変なこともあるかと思いますが、他の産地でもぜひ実施していただいて、子どもたちに地元の味を感じてほしいです。

(西条市・松木 さとみさん)

お知らせ

読者名簿更新について

JA全農えひめ情報「あぐり〜ど」は、愛媛県内JAの役員（非常勤理事・監事含む）・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

現在、読者名簿の更新を随時行っています。この度の名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年7月の西日本豪雨により、亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今月のクイズ

農業者の労働力確保へ向けた対応策のひとつで、福祉事業所等と連携する取り組みを何というのでしょうか？

「〇〇連携」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成30年9月20日（当日消印有効）

発表

「あぐり〜ど」10-11月号で発表します。

当選者発表

6-7月号の答えは「第60代目」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

鈴木 一隆さん（四国中央市）
伊藤 初子さん（西条市）
馬越 美保さん（今治市）
柳原 磯美さん（今治市）
永井 民枝さん（西条市）
栗原 佑季さん（松山市）
亀岡さおりさん（松山市）
久保 文子さん（八幡浜市）
三木江正治さん（西予市）
矢野美恵子さん（大洲市）

NOW NOW

COOKING

今月の素材

ピーマン



真夏を悩殺する
ほどよい苦みと青臭さ

指導／学校法人愛媛学園（愛媛調理製菓専門学校）大佐古 正子先生

ピーマンの肉巻きマスタード焼き

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約453kcal	
ピーマン	6個
豚バラ肉（スライス）	12枚
プロセスチーズ	6個
サラダ油	少々
④	酒 大さじ2
	砂糖 大さじ2
	しょうゆ 大さじ2
	粒マスタード 大さじ1
ミニトマト	8個
パセリ	適量

〈作り方〉

- ① ピーマンは半分に切り、種をとる。チーズは半分に切る。
- ② 豚肉を広げ、①をのせ、しっかりと包む。
- ③ フライパンに油を熱し、②の巻き終わりを下にして転がしながら焼き、④を加えて強火でからめる。
- ④ 器に盛りつけ、ミニトマトとパセリを添える。

ピーマンとささみのチリ炒め

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約187kcal	
ピーマン	6個
鶏ササミ	4本
酒	大さじ2
片栗粉	大さじ2
モヤシ	1袋
ニンニク	1かけ
サラダ油	適量
豆板醤	小さじ1
④	トマトケチャップ 50cc
	ポン酢 50cc
	ゴマ油 大さじ1

〈作り方〉

- ① ピーマンは種を取り、乱切りする。
- ② 鶏ササミ肉は一口大のそぎ切りにし、酒をまぶし、片栗粉をつける。
- ③ フライパンに油を熱し、②を焼き、一旦取り出す。
- ④ フライパンに油を少し足し、ニンニクと豆板醤を炒め、①とモヤシを炒め、③を戻し入れ、④を加えてからめる。
- ⑤ ④にゴマ油を加える。

ピーマンあんかけ焼きそば

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約491kcal	
ピーマン	8個
豚モモ肉（スライス）	160g
ニンジン	1/4本（約60g）
生姜	1かけ
焼きそば麺	4玉
サラダ油	適量
塩・コショウ	少々
④	中華スープ 400cc
	オイスターソース 大さじ4
	砂糖 大さじ1
	水溶き片栗粉 大さじ2～

〈作り方〉

- ① ピーマン・ニンジン・生姜は千切りにし、豚肉は4cm幅に切る。
- ② 焼きそば麺はさっと茹で、ザルにあげて水気を切り、フライパンに油を熱し、両面焼く。
- ③ フライパンに油を熱し、①を炒め、④を加えて塩・コショウで味を調え、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ④ 器に②を盛り付け、③をかける。



愛媛育ち きよみ まりひめ しらぬひ

3種類の愛媛県産柑橘をブレンドした
果汁100%飲料



株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

http://www.ehime-inryo.co.jp
(通販専用) http://www.pom-j.com

はじめませんか？ 省エネ住宅でエコライフ。



【エイジ】

JAオリジナル住宅

高い気密・断熱仕様
(硬質ウレタンフォーム吹付を採用)



【イズマインド】



エコキュート

ご成約の方に、
エコキュート460ℓ
もしくは
エコジョーズ(LPガス給湯器)
プレゼント!

光熱費がお得! 地球環境にもやさしい給湯システム。



エコジョーズ



リフォームも
「基本は安心」
JAホームで。



バス
〈こんな方に〉
この際、快適なシステムバスにしたい。タイルがひび割れて、水漏れが心配。



キッチン
〈こんな方に〉
IH、食器洗い等、機能を充実させたい。流し廻りを清潔に保ちたい。



トイレ
〈こんな方に〉
汲取りから水洗便所にしたい。座って楽な洋便器にしたい。

新築から増改築まで、なんでもお気軽にご相談(無料)下さい。

一貫したトータルサービスで安心をお届けします。



お気軽に近くのJAホーム窓口までお問い合わせ下さい。



お近くのJA窓口へ

JA全農えひめ 生活部 施設農住課

TEL(089)909-9466



JA/JA全農えひめ



あぐり〜どはWEBでも読めます

<http://www.eh.zennoh.or.jp>